



組立作業案内書

スチール調整架台システム

編成:

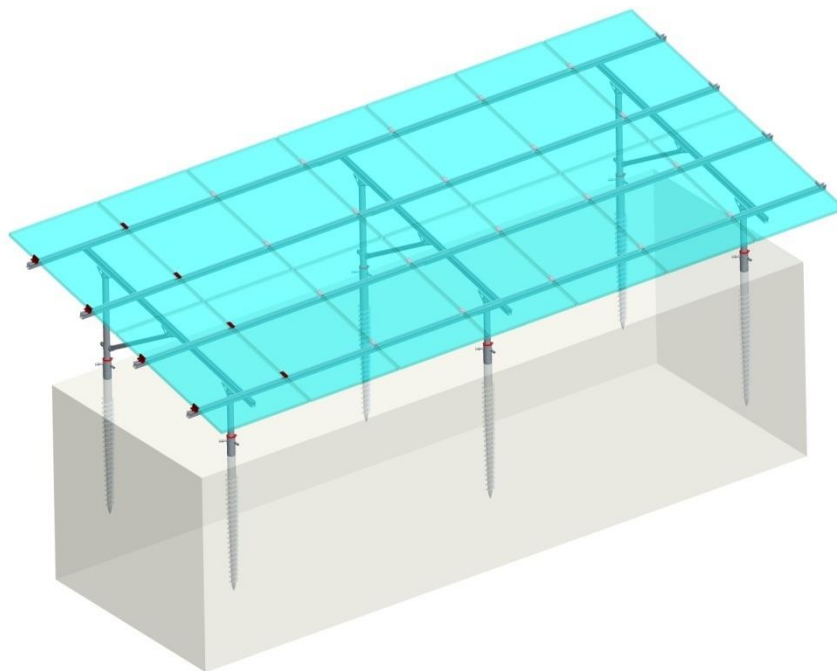
審査:

許可:

2015年09月08日



2 段 7 列縦置き-スチール調整架台 取り付け説明書



目次

一. 商品紹介	3
二. 取り付け工具と設備	3
三. 部品構成	4
1. 主要部品リスト	4
四. 取り付け説明	5
1. スクリュー杭基礎の取り付け	5
2. 仮組みした架台の取り付け	6
3. 縦棧の取り付け	7
4. 横棧の取り付け	12
5. パネルの取り付け	11
6. 取り付け完了	16
五. 取り付け注意事項	17

一. 商品紹介

安泰地面スチール調整システム(スチール調整架台)は 12 度から20度まで取り付け角度調整の架台システムです。同じ断面主材、レール及び独特な締結方式で架台システムの安定性を満足する同時に、取り付けの簡単化を実現しています。デザイン部品の高品質、付属品の種類が少ない、事前取り付けなどの特徴で組立の時間及びコストを大幅に減少でき、大型地面工程に向け、効率が高い架台システムです。

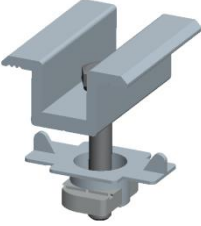



取り付け前に、本案内書をご覧ください。

二. 取り付け工具と設備

			
6mm 内六角ボルト用レンチ	ドリルドライバー	メジャー	マークペン
			
トルクレンチ	ひも	モンキーレンチ	パイプレンチ (M10/M14)

三. 部品構成

1. 主要部品リスト

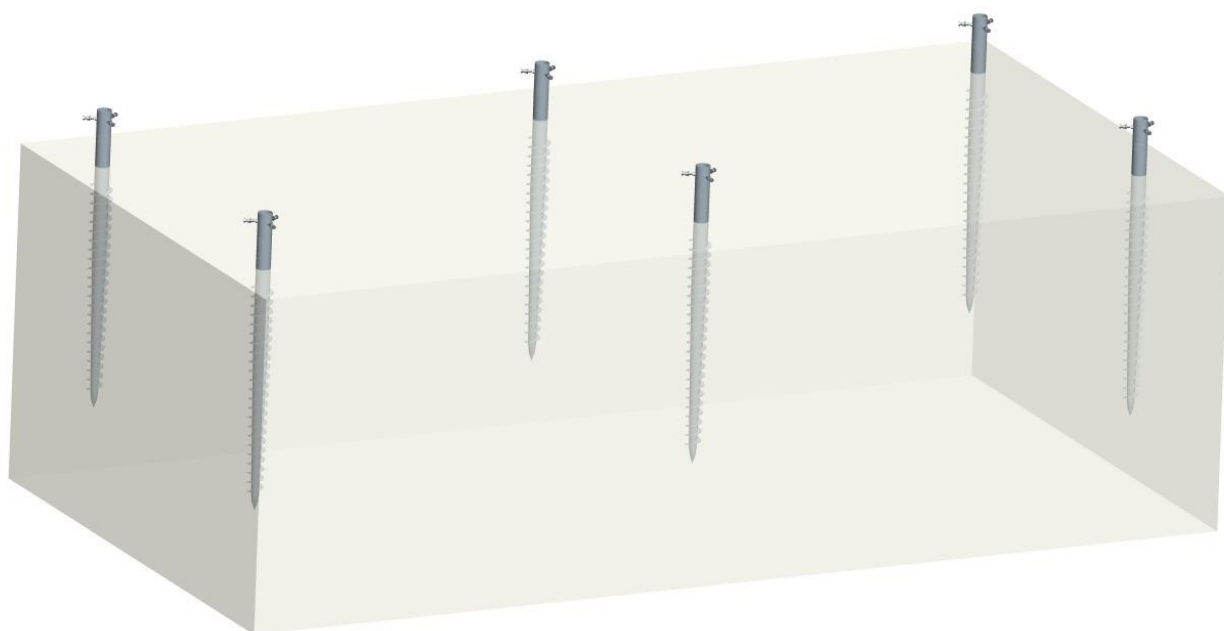
主要部品リスト			
			
側面固定金具	中間固定金具	横/縦棧	横棧連結金具
			
柱材継ぎ目(H=68)	斜材継ぎ目(H=48)	前柱セット	後柱セット
			
斜材セット	斜材固定金具(下側)	ラバーキャップ	スクリュー杭

四. 取り付け説明

1. スクリュー杭基礎の取り付け

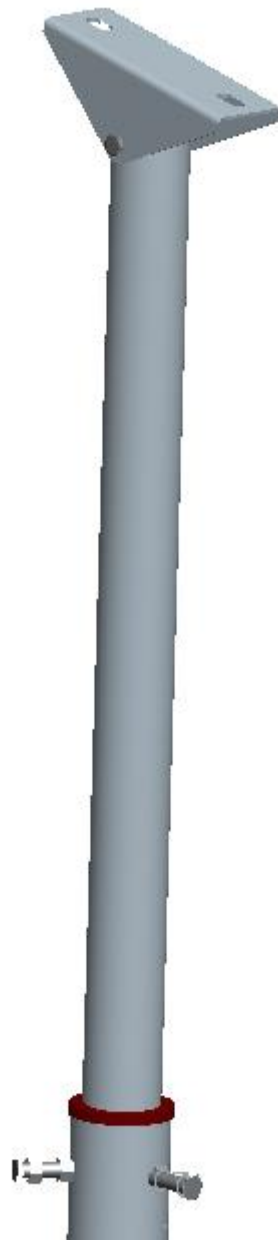
1.1. スクリュー杭の取り付け

取り付ける前に、取付工具及び各部品を事前に用意してください。施工図の計画により、各スクリュー杭の場所を標記します。スクリュー杭を地中に打ち込み時、同じ列のスクリュー杭は同じ線と同じ高さにしてください。

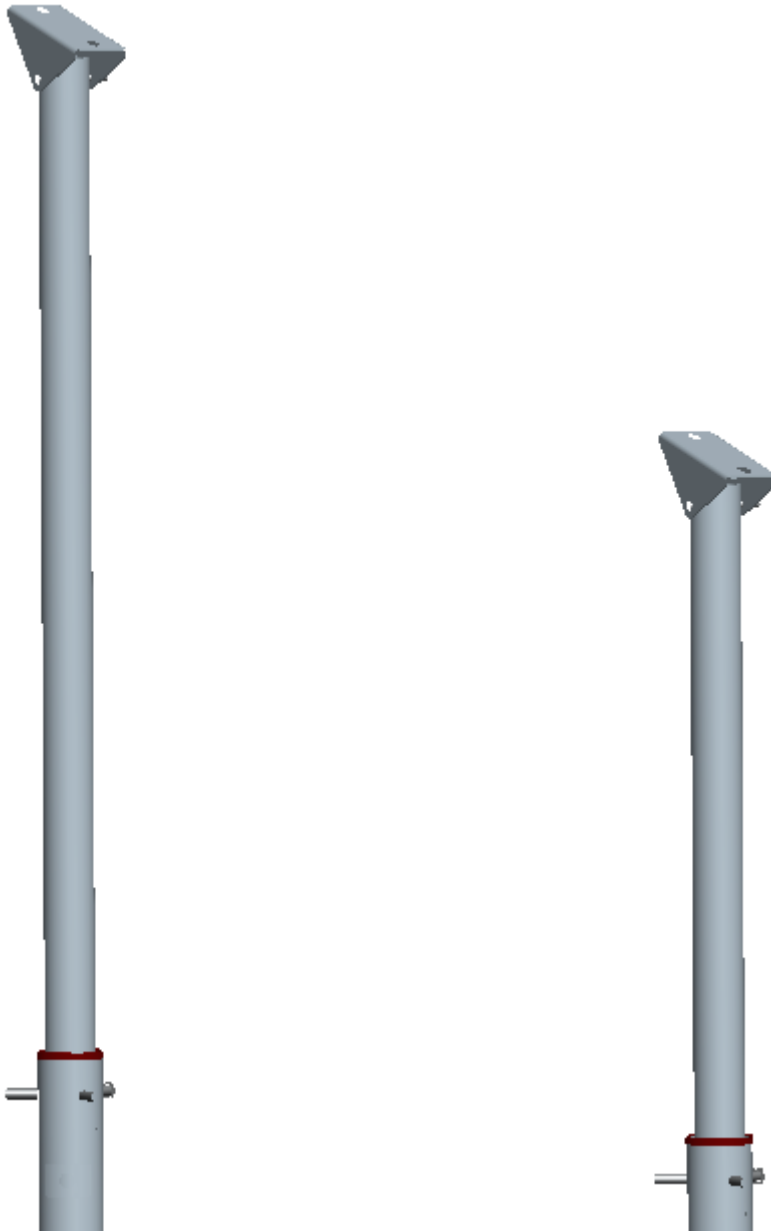


2. 仮組架台の取り付け

2.1. 仮組みした前柱セットをラバーキャップ付けのスクリー杭に挿入して、M12x38ボルトで固定します。(しっかり締めないまま);

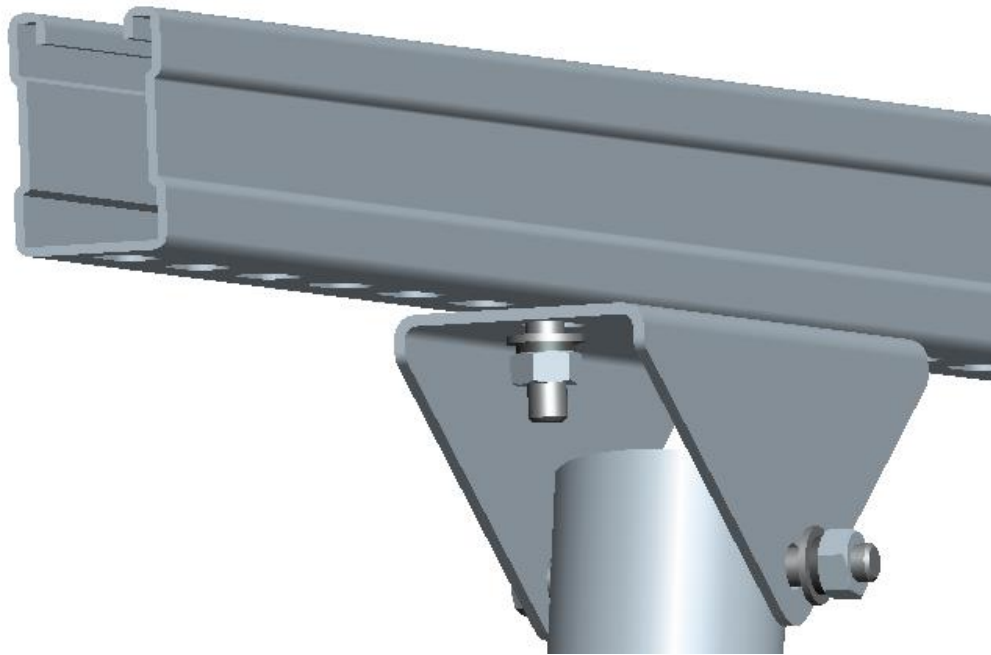


2.2. 以上の取り付け説明通り, 仮組みした後柱セットを取り付けて, M12x38ボルトで固定します。(しっかり締めない);



3. 縦棧の取り付け

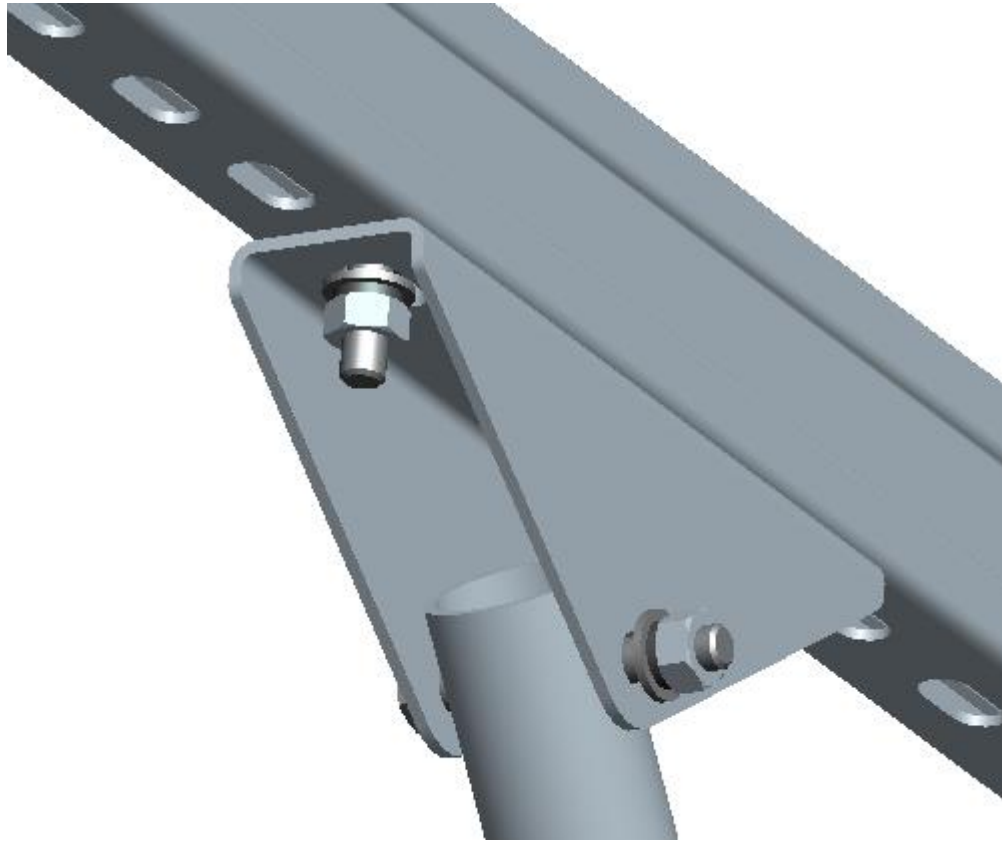
3.1. 縦棧と柱材継ぎ目穴の位置を調整して、施工図の計画により、M10x30 ボルトで順調的に縦棧を前柱材継ぎ目及び後柱材継ぎ目にしっかり締めます；



3.2. 図面のサイズ要求により、前、後柱のスクリー杭打ち込み長さを調整することによって、架台の角度と高さを確保してください。その上、スクリー杭にある三つM12x38 ボルトをしっかり締めます；

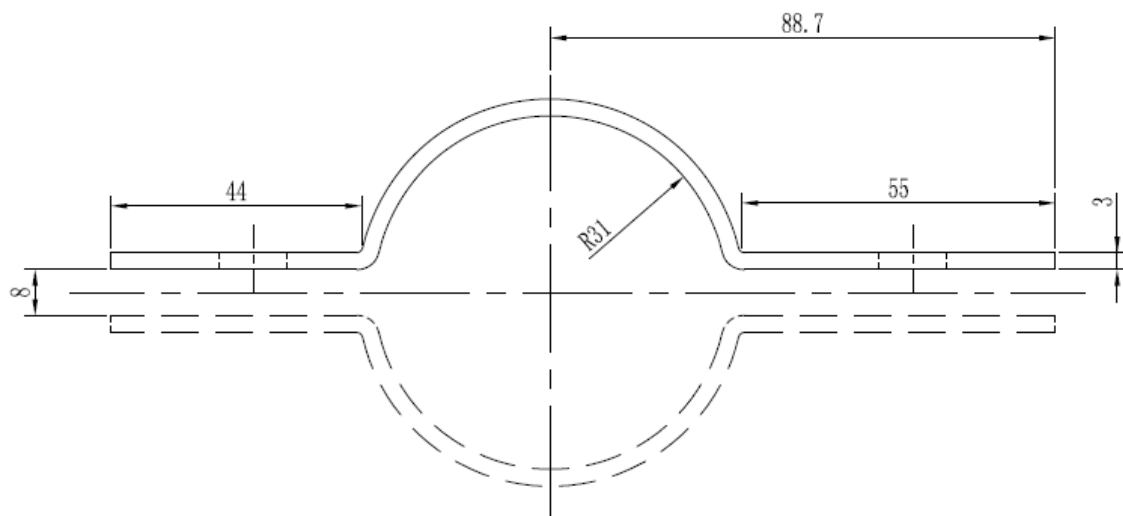


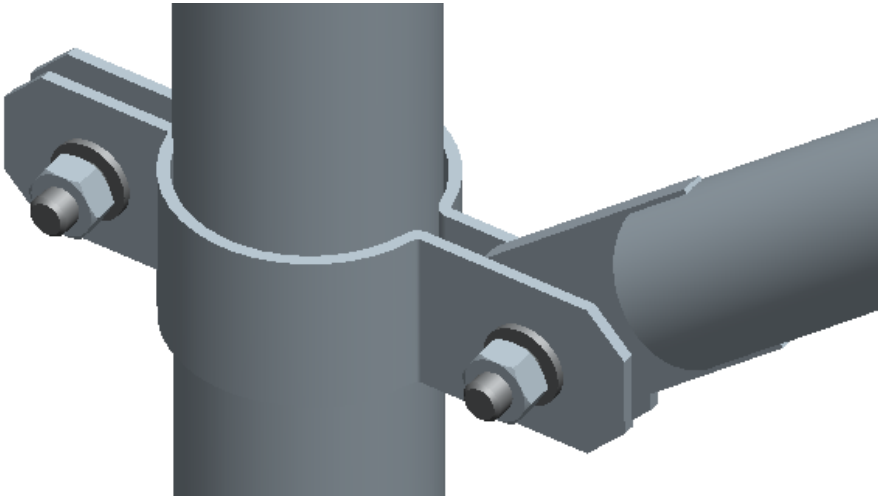
3.3. 以上の取り付け説明通り, 斜材継ぎ目を縦棧図面指定位置にしっかり締めます;



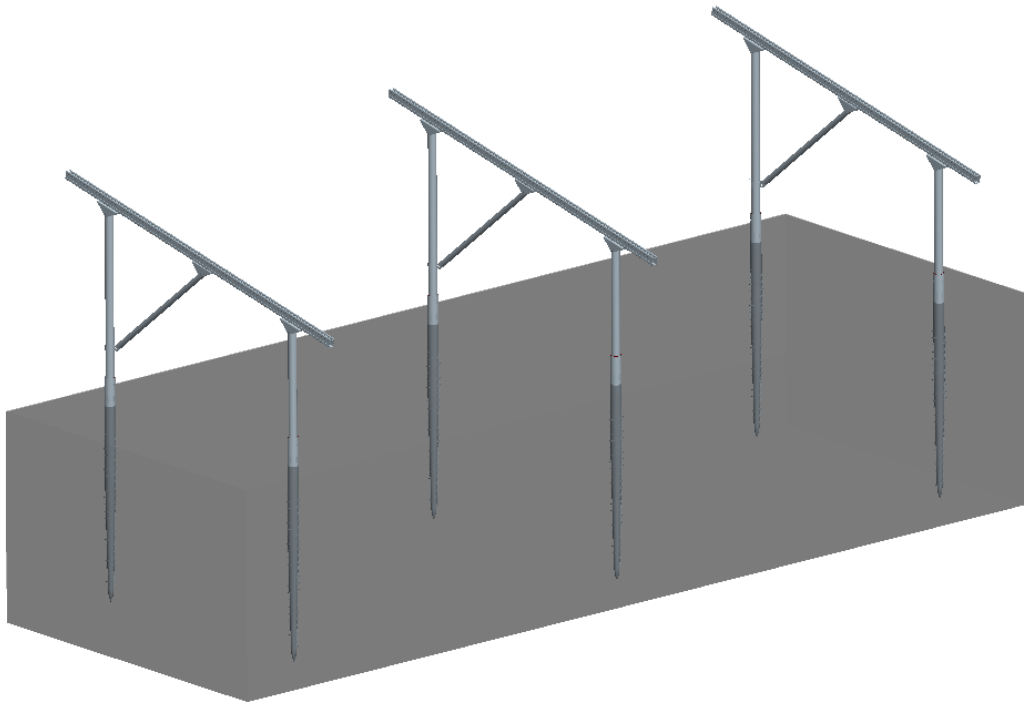
3.4. 斜材を調整して、仮組みした斜材セットを斜材固定金具(下側)で後柱にしっかり締めます;

斜材固定金具の穴と斜材の穴を合致させるための注意事項:斜材が後柱と邪魔しないように、図面通りに、長さ55mmの片側は斜材を合致して取り付ける。





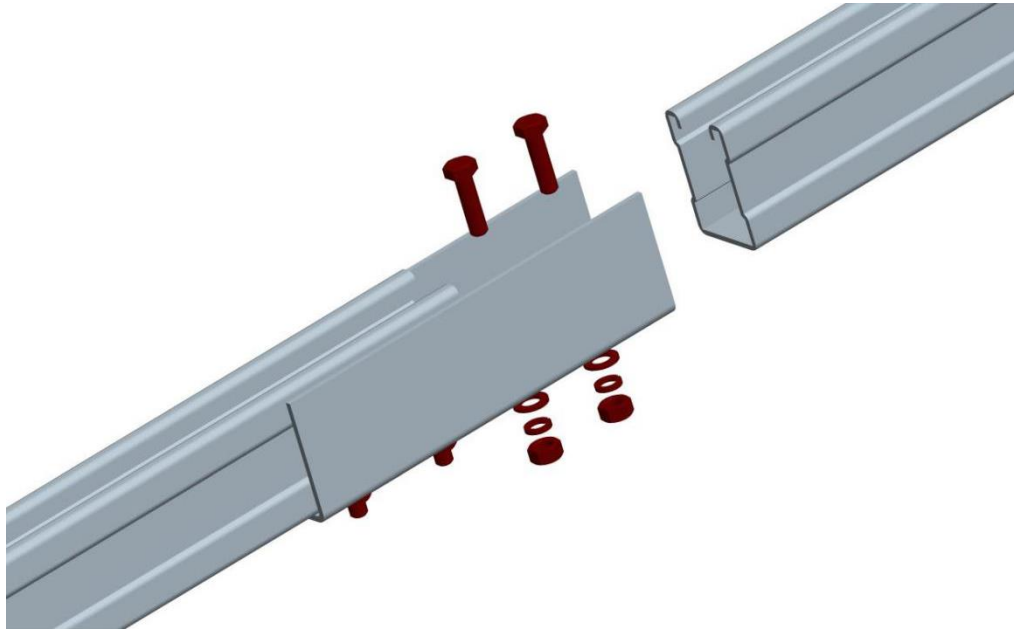
3.5. 順番に柱セットを取り付けます;



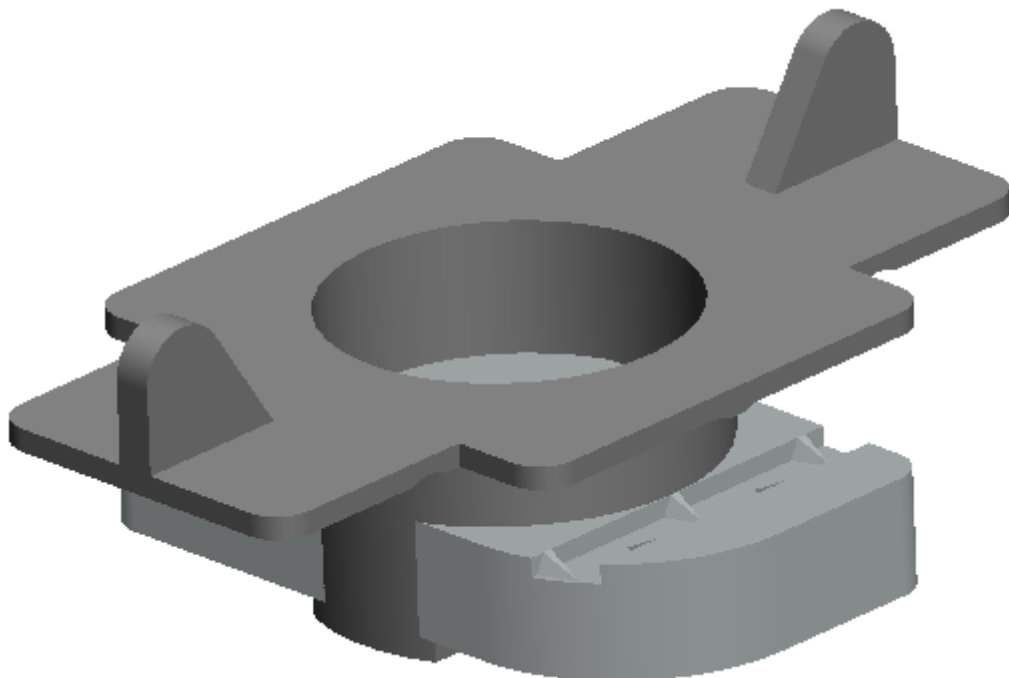
4. 横棧の取り付け

4.1. 横棧連結金具の連結方法：連結が必要な二つ横棧の両端を横棧連結金具で、毎端ずつが二つ M10*30 ボルトを通すことができるように、横棧と連結金具の長い穴で調整します、その上、しっかり締める。連結金具がレールとかみ合い公差を存在するので、実際取り付け時、多少垂れ現象がありますが、四つボルトで固定しますから、使用効能に影響ありません。

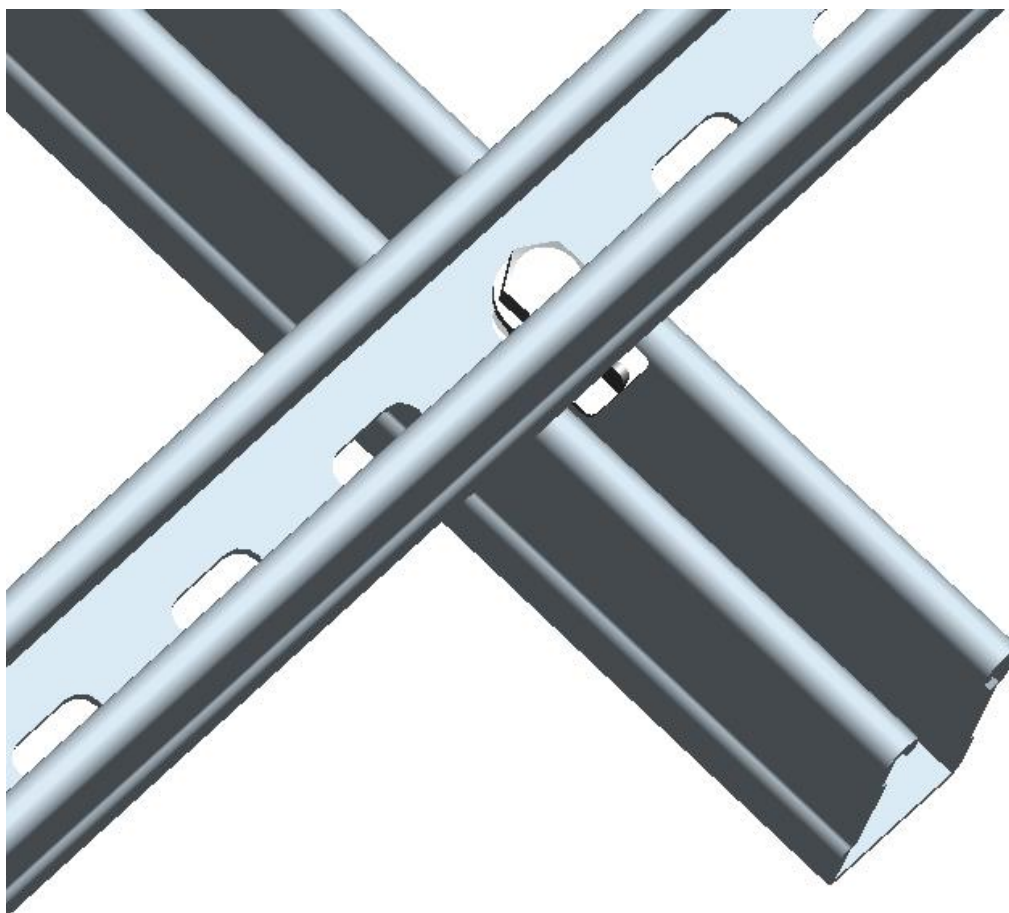
図面通りに：



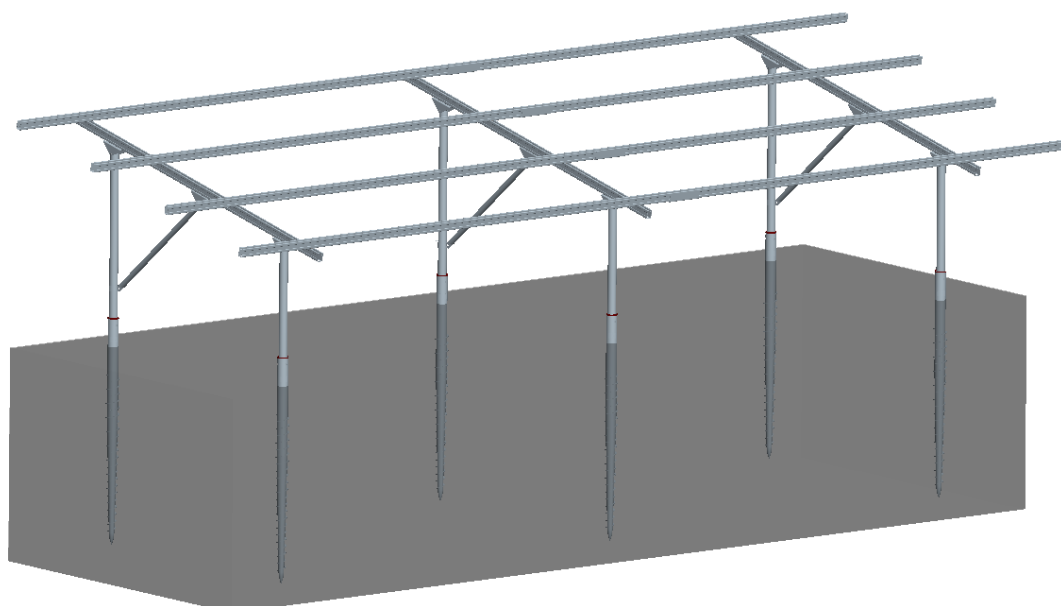
- 4.2. 方形ナット付けのM10x30ボルトで横棧を縦棧に固定します；
以下部品(以下図面のとおり)を



縦棧指定位置に付けて、レールを縦棧に置いて、M10x30ボルトがレールを通してM10の方形ナットに締めます。



4.3. 横棧の取り付けが終わった後に、一列にある横棧が同じ高さにすることを確保するように柱材を調整して、M12x38ボルトでしっかり締めた後に、スクリュー杭ごとに二つST6.3*25タッピングビスを打ち込んで、しっかり固定します；

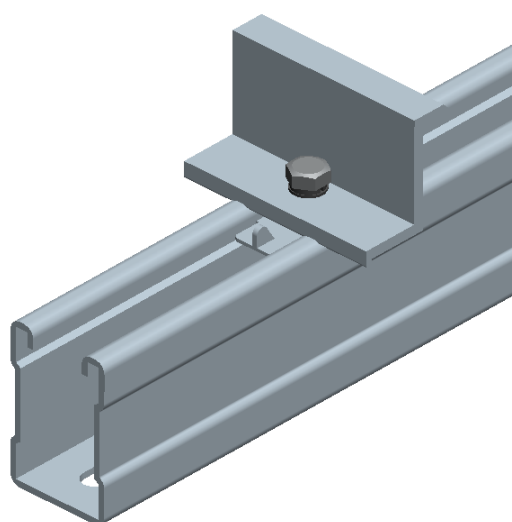


5. パネルの取り付け

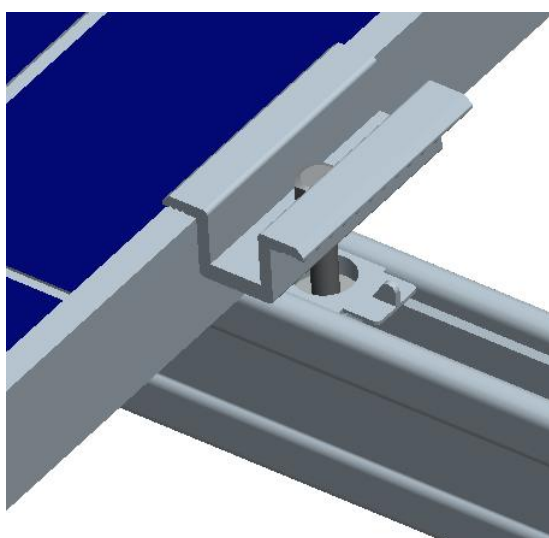
5.1. パネルはレールの一側から取り付けます;側面固定金具で端部を固定する;中間固定金具で二枚パネルの中間に入れて固定します。(側面固定金具で端部を固定する;中間固定金具で二枚パネルの中間に入れて固定します。)

ステップ 1、仮組みした側面固定金具を横棧の槽口に入れます

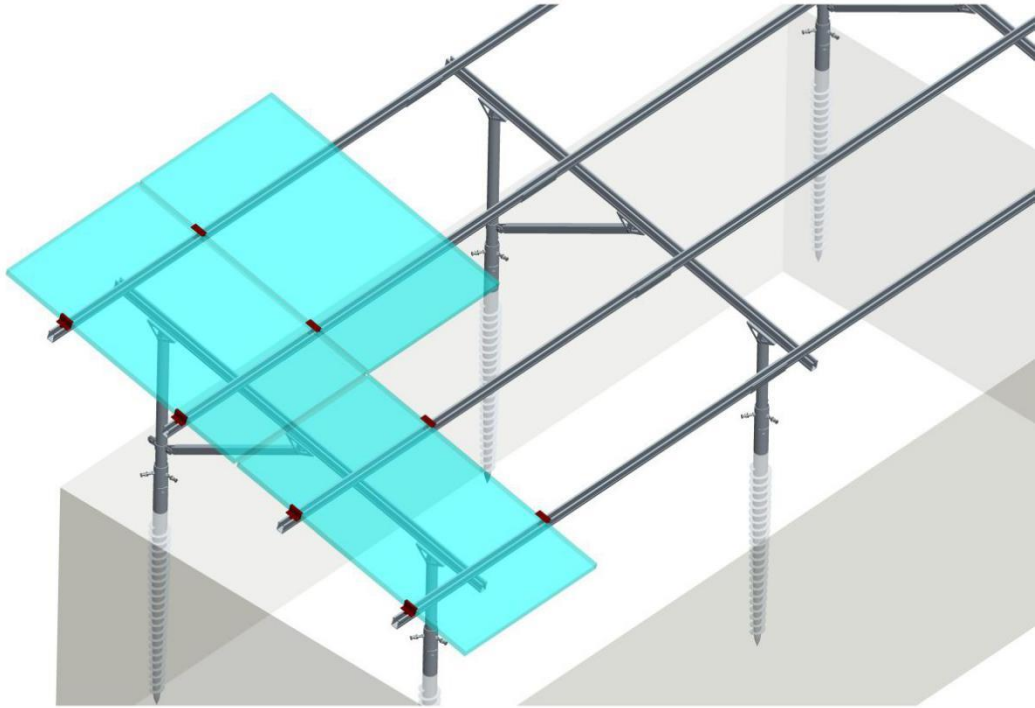
ステップ 2、取り付けした四角ナットを回転して、レールを押さえて、その上、しっかり締めます。



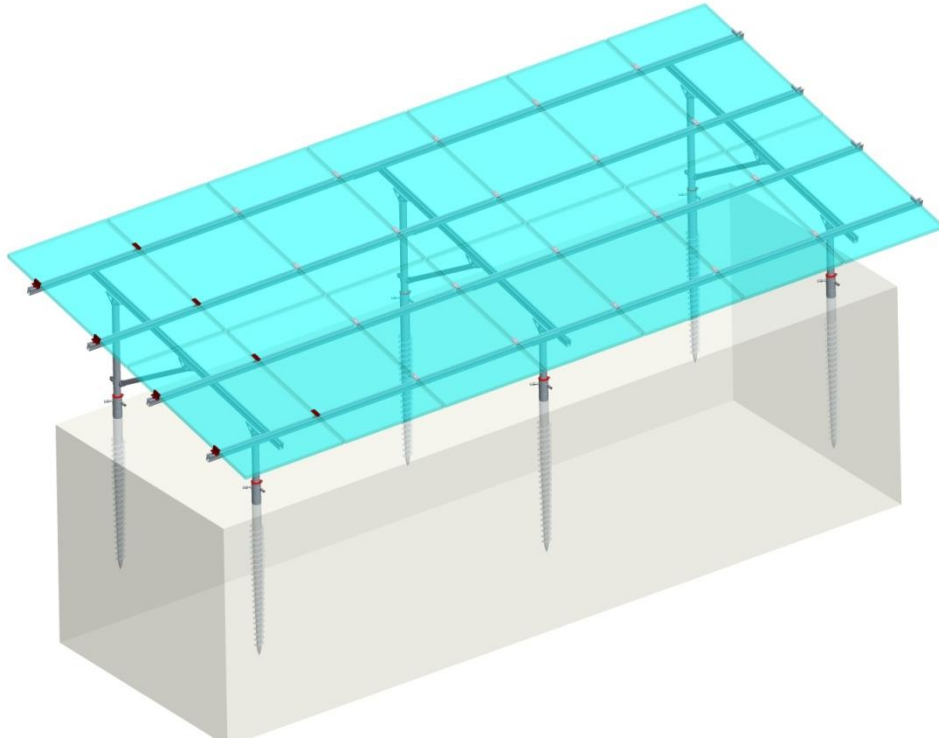
b. 中間固定金具の取り付けステップ(側面固定金具の取り付けステップ通りに)



5.2. 順番にパネルを取り付けて、完了してからレールカバーと主材カバーを掛けます;



6. 取り付け完了



五. 取り付け注意事項

1. サイズ注意事項

組立時の具体的なサイズは作業施工図を標準にしてください。取り付け案内書は商品を取り付ける時に参考としてご使用してください。

2. ステンレス固定金具を取付注意事項

ステンレス鋼板は優れた延長性があり、炭素鋼とは本質的な差があり; 適当な使用ではない場合、ボルトとナット取り付けした後、取り外すことができない恐れがあります。即ち、ロックされることがあります。ロックされることを防止するため、下記方法をご参考ください。

2.1. 摩擦係数を減少:

- (1) ボルト表面の清潔を守ること(例えば埃、砂、雑物が無いように);
- (2) 取り付け時、表面にはクレヨン或いは潤滑剤をかけること(例えば、グリース、40#エンジンオイル);

2.2. 正確な操作方法:

- (1) ねじ山に垂直に締め付けること、斜めにしないように注意してください。
- (2) ボルトを締め付ける時、平均トルク値で締めること。トルク値は規定範囲を超えないように注意してください。

(3)できるだけモンキーレンチ或いはドリルドライバーを利用せず、トルクレンチ或いはパイプレンチを使ってください。ドリルドライバーを使用する場合、回転スピードを減らします。

(4)高温状態で使用することを避けてください。温度が急速に上昇することによってロックされることが起きないように、使用する時快速回転しないでください。(例えば、ドリルドライバーなどの使用)